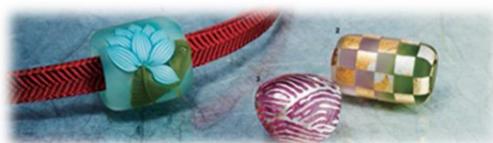


メルヘンハウス通信

今月の和とく情報

絹の帯の底力



絹の染帯について考えてみたいと思います。夏には夏らしい素材の帯が多くあります。絹綴れや紗袋と呼ばれている袋帯、そして単衣に出来ている帯やかがりの帯等を除き、芯を入れて仕立てている絹の染帯には絹塩瀬ともよばれる生地を使って染められた帯があり、この絹の染帯をお持ちの方は意外と少ないので、この帯がどれほど便利であるかについてこれから述べます。



これからの和とくポイント

どの時期の着物に締めるか

絹の帯は単衣に袖を通す頃、厳密には6月ということになっていますが、現在では初夏と感じて袷の着物が暑苦しいと思われる5月にはもう着られる方が多くみられます。

そして帯は着物よりひと足早めが良いとされますから5月の最後の週ぐらいに初夏の陽射しを感じればもう単衣に締めても良いと思います。

そして残暑を感じる9月の上旬のごく暑い日までと考えて絹の帯を締めるのは切り上げましょう。

こうしてみると絹の帯は5月の末から9月の上旬まで4ヶ月もの間にわたり締められるのでとても便利です。夏の帯を揃えたいと思っている方は是非、絹の染帯を1本考えてみてはいかがでしょうかでしょう。紗や羅の帯は7月、8月の盛夏だけなので絹の帯のほうが長く使えるので重宝です。単衣の着物から薄物の着物まで締められるので頼もしく出番も多いのです。

絹の帯地に夏の柄、色々な夏の素材の着物に合わせてみれば、絹の帯の底力を感じるはずですよ。

また、夏場は体温も高くなり汗ばむので身体の暑さが帯にも伝わります。そして汗ばみまですから、単衣の帯やかがりの帯を締めていると、帯の厚みがないためお腹の前の部分が身体の暑さと重みとで折れるようなシワがより、帯を解いたときにはシワも強く、しっとりとした感じになってしまっています。その点、絹の染帯は芯が入って仕立てあるので長時間締めていても、しっかりとしていて気持ちが良いものです。脇の下辺りにくるところにもシワが寄らずにきちんとしていて見た目にも美しく見えるのです。

暑そうに着ていると見苦しいので、夏は特にきりっとした着物姿でいたいと思います。

今日もきもの気分

やしま呉服店からのお知らせ

今月の一言

袂に智恵と工夫
自分サイズで楽しむキモノ
体型は変えられないけど
視覚マジックがあるさ！

6月の催事・イベント

◎夢の座：和が道をゆく～大和夢之介 Live
とき：24(金) 25(土) 26(日)

◎ポーセラーツ教室
とき：16日(木)

◎月1キャンペーン：浴衣・夏小物
期間：10日(金)～19日(日)

◎金沢主計町水無月散策会
とき：10日(金) 11日(土)

※各詳細のお問い合わせはお店まで
◎HP：<http://www.yashima-gofuku.co.jp/>

さくらきもの学院

◎HP：<http://jtti.jp/sakurawasou/>
◎FB：<http://jtti.jp/sakurawasou/>

※レッスンのお申込受付ます♪
・マンツーマンレッスン：初等科6回
・1dayレッスン：500円/回
申込：<http://sakura-rarara.sblo.jp/>



By: お藤